5) まきつけ
事前に発芽促進処理と種子消毒
- ばらまき … 小粒種子は、床面に均等にまく。
- すじまき … 大粒種子は、一粒ずつ一定間かくでまく

覆土 … 種子の厚さの2-3倍。小粒種子の場合「みえかくれ程度」

4/28 (6) まきつけ後の管理 p148~

1) 日除け … 発芽直後の苗木を高温・乾燥から守る。
寒冷しゃ(黒いネット)で遮光率40~50%にする。

2) かん水 … 床土の乾燥が続いたら行う。
日中を避け、朝夕行う。まとまった雨が降るまで、たっぷり行う。

3) 除草 … 雑草に陽光や通風をさえぎられないようにする。
最も手間を要する作業。

4) 間引 … まきつけ床で苗が密生している部分で、苗に十分な陽光と生育空間を与える。

5) 病虫害防除
- 病害 … 赤枯れ病(スギ)、立枯病(針葉樹)など
- 虫害 … ネグサレセンチュウ、ネキリムシ(苗木全般)など

防除方法 ① 水はけ、風通し、日あたりをよくする
② 窒素過多、リン欠乏に注意
③ 早期発見、除去
④ 連作を避ける、土壌の消毒

6) 根切り … 長い直根を切りつめる。
物理的に弱い苗木 = 徒長(細長く、ムダに伸びる)を防ぎ、細根の発生を促す。

7) 除けつ … 晩霜害(春)、早霜害(秋)
苗の先端部が凍って枯れる。

8) 床かえ … 大きく育った苗木に十分な陽光と栄養を与えるため新たな苗床に移植する。

p151
ここに、3-17表、
床かえ年度表をうつして下さい。
(アカマツ クロマツ ではなく
アカマツ クロマツ です。)

4/28 森林科学
教科書 p148~151 を
読んで、ノートにまとめること。
ノート例はこのとおり。